



進路通信

第10号

令和 7年 2月 2日
文責 遠藤 博文
(進路指導主事)

コミュニケーションセミナー

1月23日(木)午後1時から県主催の「コミュニケーションセミナー」が本校多目的教室にてリモートで開催され、通信制・定時制の就職内定者27名が参加しました。同時に県内の他校生もリモートで参加し、総勢390名がこのセミナーを受講しました。講師は株式会社HRPの2名の方で、前半と後半に分かれて担当し、「仕事のとらえ方」や「仕事の基礎」、そして「ビジネススキルを身に付ける」という内容をお話ししてくださいました。電話対応ではペアでやりとりを体験し、基本的な電話マナーを理解することができたと思います。途中、他校生の意見も聞けるなど有意義なセミナーとなったのではないのでしょうか。参加者は学んだことをぜひ、4月からの職場で活かしてください。



【生徒の感想】

- ・「3人のレンガ職人」の話を聞き、同じ仕事でも捉え方でこんなにも印象が変わるものだと思った。仕事のやりがいを考える上で、アルバイトや生徒会をやっていて良かったと感じた。自分は自信をつけるためにミニ目標を決めて動くことを意識している。良好な人間関係を構築するために、受け答えやあいさつを大切にしていきたい。
- ・何事も自分から動くこと、そしてあいさつ、時間を守る、メモをとる等、が大切であると感じた。これらは、仕事を覚える前でもできることなので、初日からしっかり行っていきたい。そして信頼される人になれるようがんばりたい。
- ・固定電話の対応については自分自身あまり詳しくなかったが、保留ボタンの位置をしっかりと確認し、セミナーで学んだことを実践していきたい。

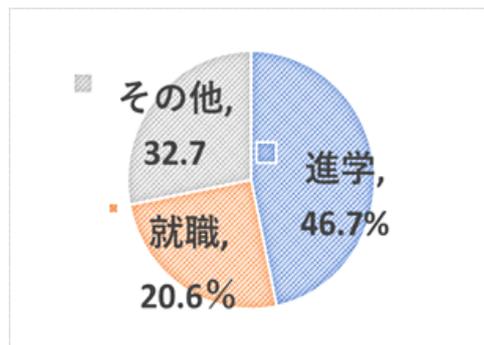
進路状況

2月2日現在の卒年次生の進路状況についてお知らせします。就職・進学とも先月と変わらず就職は14名が内定、進学は32名で計45名が確定しています。すでに私立大の一般選抜が始まり、2月下旬には国公立大前期選抜が行われます。受験生は体調管理をしっかり行い、万全の準備で臨みましょう。

	希望	決定	内定先・進学先 ()内 人数
就職	22	14	県内 株式会社 伊徳 株式会社 ホスピタリティオーペレーションズ 株式会社 アキケン トヨタカローラ秋田株式会社 株式会社 北羽新報社 秋田ステーションビル株式会社 医療法人正観会 御野場病院 ダイヤクラフト株式会社 秋田工場 株式会社 Nui Tec Corporation 秋田工場 秋田県職員 由利本荘市職員 県外 株式会社 三ツ和 (2) 株式会社デュエット
			4年制大学 秋田大学 総合環境理工学部 秋田県立大学 システム科学技術学部 日本赤十字秋田看護大学看護学部 北海道文教大学 医療保健科学部 宮城学院女子大学生生活科学部 短期大学 仙台青葉学院短期大学 歯科衛生士科 秋田栄養短期大学 栄養学科 専門学校 秋田技術専門学校(3) 由利本荘医師会立由利本荘看護学校 秋田情報ビジネス専門学校 秋田コアビジネスカレッジ 日本医歯薬専門学校 ホンダテクニカルカレッジ 関東 新潟コンピューター専門学校 秋田理容美容専門学校 東京デザインテクノロジーセンター専門学校 仙台総合医療大学校 専修大学北上福祉教育専門学校 HAL 東京 バンタンクリエイターアカデミー専門学校 千葉美容専門学校 Wan 国際ペットワールド専門学校 石塚洋裁専門学校 東京ビューティアート専門学校 宮城文化服装専門学校 北日本ハイテクニカルカレッジ グカレッジ ヴィーナスアカデミー 代々木アニメーション学院 仙台リハビリテーション専門学校 日本デザイナー専門学校 仙台デザイン専門学校 仙台医療福祉専門学校
進学	50	32	

卒業予定者の進路の内訳

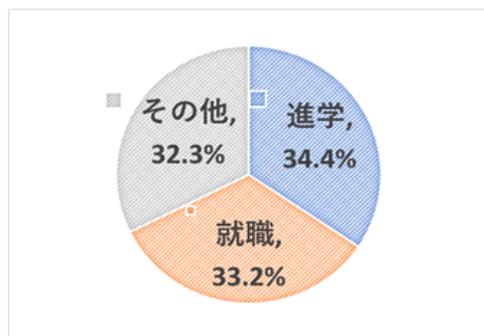
2月2日現在の卒業予定者 107名の進路の内訳をお知らせします。進学は希望者 50名(46.7%)のうち 31名が確定し、就職は希望者 22名(20.6%)のうち 14名が内定しております。(表参照)その他は 35名(32.7%)となっています。進学はここ数年増加傾向にあり、総合型選抜や学校推薦型選抜を利用して早期に決めたいという生徒が増えています。この傾向は全国的な流れとなってきています。就職も、学校を通して(学校推薦)受験をする生徒が増えており、現在も粘り強く活動をしている生徒もおります。就職する上で大切なことはコミュニケーション力です。次年度就職を考えている人は、アルバイト等を通して、コミュニケーションスキルを磨くとともに、アルバイト先の方々と協力し合い働くことの経験を積んで欲しいと思います。



※その他は定職・アルバイト継続、進学・就職準備等です

第2回進路希望調査結果(在校生)

11月に実施した第2回進路希望調査結果は 334名の回収で、進学が 115名(34.4%)、就職が 111名(33.2%)、その他が 108名(32.4%)でした。その他のうち「未定」が多い状況でしたが、その内訳で「進路に悩んでいる」という生徒が相当数おりました。進路を考える上では、自分と身近な方々から意見をもらうことも大切です。担任や家族、進路の先生に積極的に相談してみましょう。客観的なアドバイスをもらうことで、解決策につながる場合もあります。新年度の準備に入るこの時期、自分と向き合い、進路を考えていきましょう。



◆合格体験記◆

今回の合格体験記は学校推薦型選抜(公募)で「医療系の大学」に進学を決めた生徒から書いてもらいました。ぜひ進路実現の参考にしてください。

<進学> 「日本赤十字秋田看護大学看護学部(看護学科)」

学校推薦型選抜(公募)

私は助産師の方による性教育講座を受けた際に、母子の心身を支える助産師という仕事に魅力を感じたことがきっかけで、助産師を目指すことを決めました。2年生の夏からオープンキャンパスに参加し、3年生になって志望する大学を決めてからは、日赤の公開講座や救急法の基礎講習、ボランティアにも何度か参加しました。公開講座では災害や医療に関する知識に加え、小論文の内容にも通じるような国内外の問題について学ぶことができました。ボランティアでは困っている人のために働くことのできる喜びを感じると共に違和感も覚えました。様々な人と交流することができ、自分にとってよい経験となりました。大学の雰囲気を知るためにも、志望する大学の行事等には積極的に参加することが大切だと思います。

公募推薦の試験内容は、小論文と面接、特別活動報告書や志望理由書があり、特に小論文と面接の対策に力を入れて取り組みました。小論文は過去問題から取り組み、先生に添削をいただきながら小論文を書くことに慣れるよう練習しました。文書を書くのに時間がかかったり、内容がうまくまとまらなかったりもしましたが、自分が書きやすい形を見つけてからは短い時間で内容をまとめられるようになりました。面接は、内容について先生方からアドバイスをいただき繰り返し練習をしていただきました。練習中は多くの回答を用意することが難しく、言葉に詰まってしまうこともありましたが、先生方のアドバイスにより、回答を短めにまとめ、伝えたいことを伝える話し方を意識し、徐々に質問に沿った回答ができるようになりました。

志望校を決めたのが3年生になってからで、受験のための時間が足りないと感じたことも多かったです。先生方や家族の支えもあり、第一志望の大学に合格することができました。焦る必要はありませんが、在校生の皆さんには早い時期から備えて、余裕を持って受験に臨んで欲しいです。自分の将来を考えることは難しく、悩むことも多いと思いますが、自信を持ってがんばって欲しいです。応援しております。

令和8年度大学入学共通テスト(次年度)説明会

「令和8年度(2026)の「大学入学共通テスト説明会」を次の日程で開催します。次年度に受験を考えている方は必ず参加してください。

期 日：2月2日(日)後期 T2 15:05～ 場所：61教室 (〆切1月26日後期 T1)

講 師：三浦先生、藤田先生

持 物：筆記用具

1月・2月の模擬試験(在校生向け)

◆大学入学共通テスト模試(4修2・3年次、3修2年次対象)

実施日：令和7年2月4日(火)・5日(水) 国語・数学・英語・地歴公民・理科(5教科)

4年制大学・短大 志望者は積極的にチャレンジをしていきましょう。



進 学	5 0
就 職	2 7
その他	3 0
計	1 0 7

進 学	1 1 5
就 職	1 1 1
その他	1 0 8
計	3 3 4



